

■家族向けニュース（ご家族の方にお渡しください）■

# 菜の花通信

Vol. 51

■発行■  
長崎県保険医協会  
菜の花会



仏教徒と教会信徒  
棲み分けの町神ノ島

岬のマリア像から対岸の香焼造船所を臨む

## 山口広助さんと歩く 神ノ島歴史散歩

菜の花会第64回例会

昨年10月30日に料亭青柳店主で、「まち歩きの達人」としても活躍されている山口広助氏を講師に「山口広助さんと歩く神ノ島歴史散歩」を開催し、会員・家族など17人が参加しました。



▲講師の山口広助氏

講師である山口氏は「この「小瀬戸」の地名は小瀬戸の「小」、木鉢の「木」、神ノ島の「神」を組み合わせたもので、長崎市に編入され、昭和

今回散策する神ノ島は長崎港西側の半島先端に位置します。一行は小瀬戸センターから旧海岸線に沿つて神ノ島教会を目指すルートを散策しました。



さらに住宅街の路地に進むと、たしかに岸壁

しました。妻子の別れの場所となつた小瀬戸浦」であると解説しました。



▲小瀬戸公園から住宅地に進むと右手に昔の海岸線の名残が見られる。



▲小瀬戸浦の碑  
江戸時代はこの公園も海の中だった。



▲池之神社。境内には稻荷や天満宮など多くの祠が祀られている。

だつたと思しき石積みの埠が続いていました。そしていよいよ神ノ島に入つたところにあるのが神功皇后を祀る池之神社です。一行はお参りを終えると、山口氏が、言い伝えでは朝鮮出兵の際、風待ちで神功皇后がこの島を訪れたことから「神ノ島」となったといわれるようになつたと紹介。

また江戸時代後期に書かれた「長崎名勝図会」に神ノ島はその昔、青い水をたたえていた池があり「池の御崎」といわれ

ていたが、いつしか涸れ井戸を残すのみとなつたと記載されていると説明しました。



▲神ノ島漁港を前に講師の説明を受ける参加者



▲小春日和のなか、岬のマリア像に向かう一行

昼食は長崎サンセツトマリーナの「ザ・ヴィラズ」に移動して料理と歓談を楽しみました。最後に山口氏は「今日

会信徒が棲み分けて暮らしています。仲が悪かったのではなく、仏教徒が先に良港がある地区に住まい、その後比較的キリストンの取締が寛大だった佐賀鍋島藩深堀氏の所領にキリストンが移住しました」と解説しました。



▲よく歩いた身体に優しい昼食でした

さらには海岸線沿いを進むと日本で2番目に古い神ノ島教会下に着きました。聖フランシスコ・ザビエル渡来400年を記念して建立されたマリア像がそびえる岬に登り、歩いてきた道のりを一同振り返りました。山口氏は「ご覧いただいたとおり、神ノ島は佛教徒と教

は行けなかつた神ノ島公園は長崎港が一望できます。長崎市内には残つていない歴史の痕跡を残している地区なのでぜひ別の機会に散策していただきたい」と参加者に呼びかけ終了しました。

参加者からは「普段、通る事の無い道や防波堤、神社など、学ぶ事の無い話を聞くことが出来て有意義な時間でした」などの感想が寄せられました。

&lt;寄稿&gt;

## 神ノ島散策、徒然…



10月30日、天気予報は朝から冷えるという事では着込んで行きましたが汗ばむほどの良い天気。山口広助さんの軽妙な語りに引き込まれていき、小

長崎市・山田医院  
山田真理(文・写真)

池の神社内の井戸跡



神ノ島となつたいわ  
れは神功皇后の朝鮮出  
兵でこの島にお立ち寄りになつたことからという事でした。  
私はキリスト教の「神の島」と思つていましたが  
島は鍋島藩の所領で比較的のキリシタンへの取り締まりが寛大だつたため外海、矢上、諫早、佐賀などから多くのキリシタン



池の神社の8本の屋根組。  
「女性の神様は偶数、男性の神様は奇数」と教えてもらいました

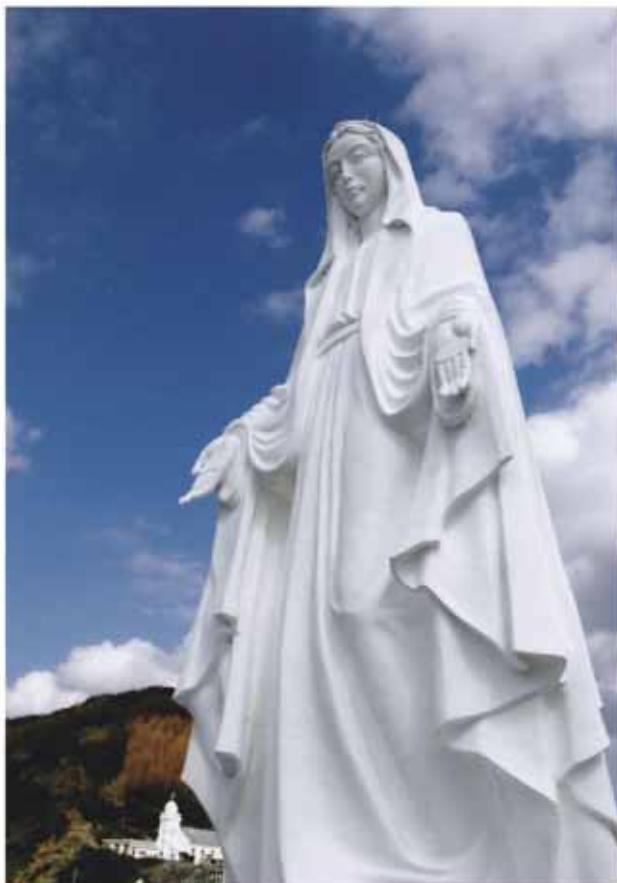
が移住した地域でした。  
そのため教会も大変古く  
大浦天主堂に次ぐ2番目に  
古い教会です。

昭和24年フランシスコ・ザビエル渡来400周年を記念して神の島信徒らが建立。傷んできたため昭和59年再建され長崎港口のシンボルとして生まれ変わった。マリア像の後方に神ノ島教会があります。

約1時間半の散策でした  
たが、のどかな海岸線の道をゆっくり歩いて良い運動にもなりました。



岬のマリア像の高さは4.6m。  
世界平和と航海安全を祈念しています。  
山の中程にある神ノ島教会はフランス人宣教師によって明治30(1897)年に私財を投じて建設されました。



## 第65回例会のお知らせ

# 歴史の道 多良海道を行く歴史散歩バスツアー



江戸時代の海上交通の要所であり「歴史の道百選」にも  
選定された多良海道の歴史を辿ります



日時 2020年5月10日(日) 集合場所 JR諫早駅／9:00

講師 諸星美術・歴史館専門員 大島 大輔氏

行程 諫早駅9:00→高来支所9:30着→周辺散策(1時間30分程度)11:00発  
→大越11:10着→江戸時代の道歩き→バス乗込み11:40発→(昼食)  
12:10着13:00発→海中鳥居13:30着13:45発→多良道の駅14:00着  
14:30発→竹崎城址展望台15:00着15:20発→諫早駅16:10着予定

昼食 「川した」(佐賀県藤津郡太良町大浦戸750-1 tel:0954-68-2645)

定員 25名(先着順、会員・家族・スタッフ優先) 最少催行人数17名

参加費(予定) 会員・家族・スタッフ 5,000円 同伴者 6,000円

申込締切 4月24日(金)17:00

お問い合わせは長崎県保険医協会まで TEL 095-825-3829